

福祉施設利用者 市などに寄付金

平塚

世界の貧困に
苦しむ子どもた

ちに救いの手を届けようと、平塚市内の福祉施設を利用する知的障害者らでつくる「しんわ本人自治会連合会」が2日、同市役所を訪れ、同市や国際ボランティア団体などに寄付金約56万円を贈った。

社会福祉法人「進和学園」(同市万田)の障害者施設利用者でつくる同連合会は、利用者本人のほか、家族や職員らから毎年寄付を募っている。寄付金は市や、



県ユニセフ協会平塚友の会、NPO法人エルエンジェル国際ボランティア協会など6団体を通じ、カンボジアの子どもたちの支援やネパールの学校図書館で本の購入資金に充てられる。同友の会の北島英和会長は「世界中の多くの子どもたちが栄養失調で5歳まで生きられない。心の温かい支援がありがたい」と感謝。同連合会の木村まり子会長「写真右」は「世界中の人たちの役に立ててくれれば」と話した。